

香川芳子
女子栄養大学学長



昨年のうれしいニュースは、鈴木
本章・北海道大学名誉教授と根岸
英一・米パデュー大学特別教授の
ノーベル化学賞受賞でした。お二
人とも1960年代にアメリカに
渡り、一心に研究活動を続けて科
学の進歩に貢献しました。持てる
才能を最大限に開花させることが
できたといえます。授賞対象にな
った有機化合物の反応は、医薬品
からエレクトロニクス材料まで、
さまざまな物質を作り出すのに欠
かせない手法で、私たちも日常生
活で恩恵を受けています。

翻って今、日本の若者は就職活

動に一喜一憂し、思考が内向きにな
っているようです。人材こそ宝
です。大学で博士号をとつても就
職先がない社会では情けない。研
究の場に若者たちが夢を持って飛
び込んでいけるようではなくてはな
りません。思考が柔軟な若い時期
に、どんどん海外に飛び出して新
鮮な空気を吸い、世界にはさまざ
まな価値観や考え方があることを
実験することはその後の人生に
多大な影響を及ぼします。若者が
独創的な研究を続け、その成果を
社会に還元できるような活気ある
国であってほしいと思います。

広く世界に視野を広げ、
若い人が才能を
開花できる国を築きたい